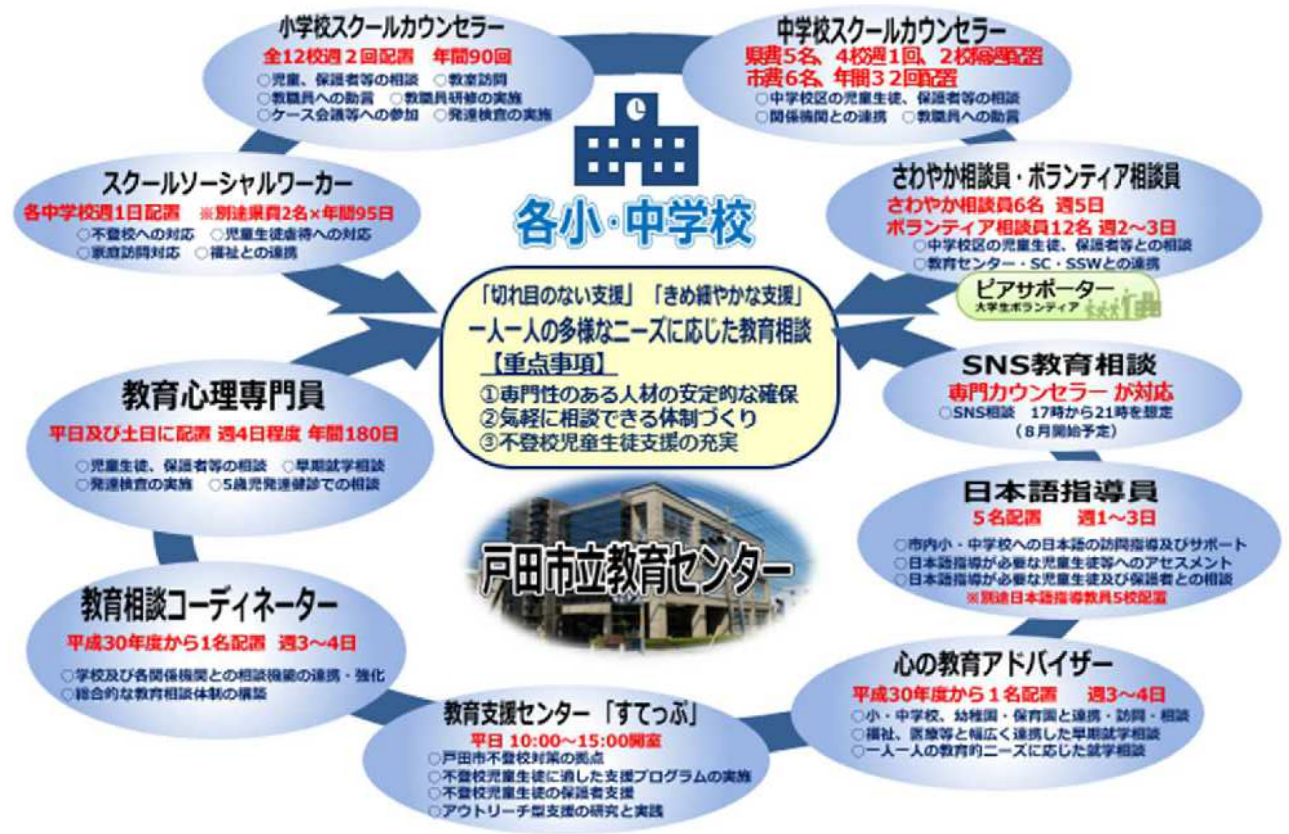
多様なニーズのある子供達への支援について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

戸田市教育相談充実構想



多様なニーズに応じた教育相談体制

学校生活における様々な悩みや不安、困り事に寄り添い、「切れ目のない」「きめ細やかな」サポートができるように、戸田市では児童生徒や保護者がいつでも、気軽に相談できる多様なニーズに応じた教育相談体制を整備しています。



令和３年度「広報とだ」７月号より

教育支援センター　「すてっぷ」 の特色

民間事業者との連携による不登校児童生徒や保護者への支援の充実

特色１　戸田市の不登校対策の拠点

◆不登校支援の専門的知見を活用した教室運営
◆居場所、学習に適した環境の整備
◆不登校支援の専門家による教育相談
◆教育相談コーディネーター・SSW・SCとの連携
◆総合的な不登校対策会議・教員研修運営支援





特色２　一人一人に応じた支援プログラム

◆不登校児童生徒に適したカリキュラム編成
◆豊かな情操と社会性を育む体験活動
（農業・体育・調理・絵手紙作成・茶道・ソーシャルスキルトレーニング　等）
◆個々の可能性を伸ばす先進的な学びの支援
（プログラミング・STEAM教育）

特色３　不登校児童生徒の保護者支援

◆保護者の希望に応じた専門家による教育相談
◆「ひだまり（保護者とともに不登校について考える集い）」への協力
◆すてっぷ通級状況を踏まえた保護者会の実施

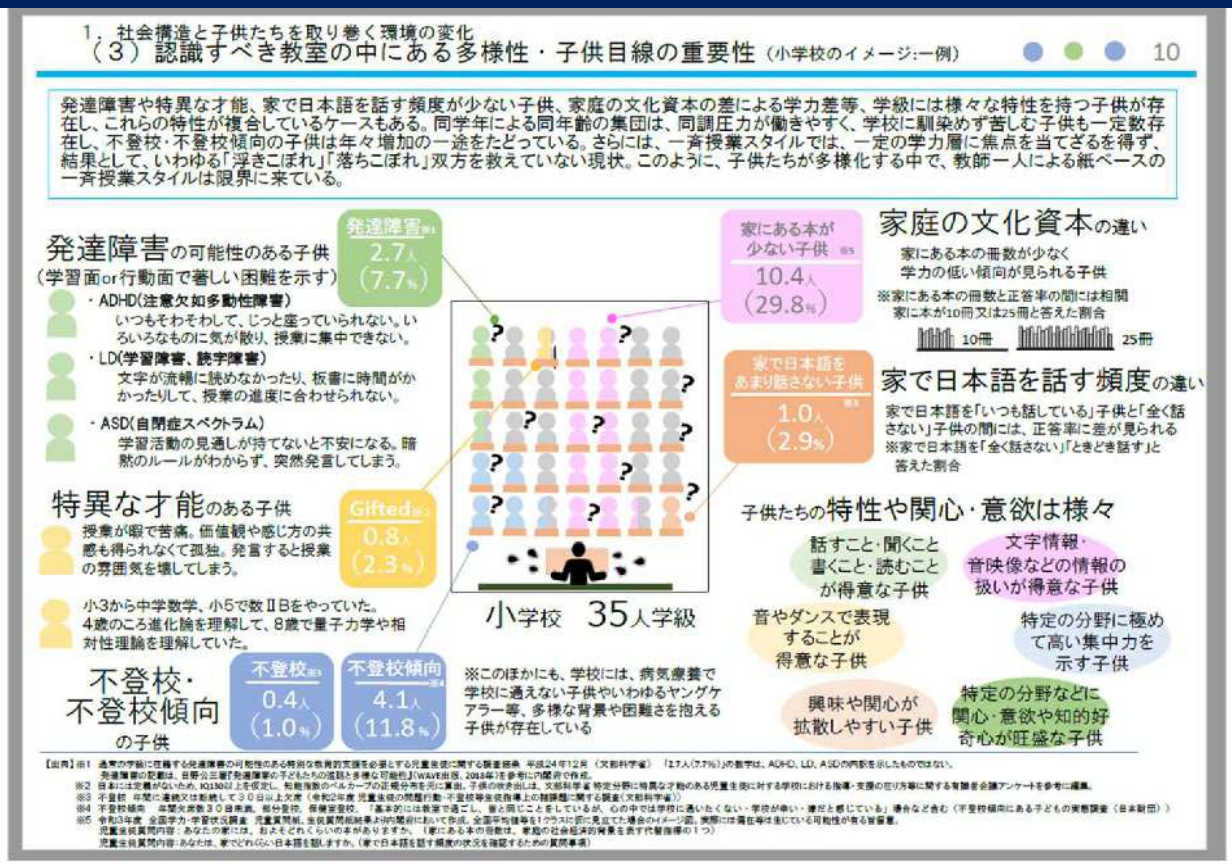




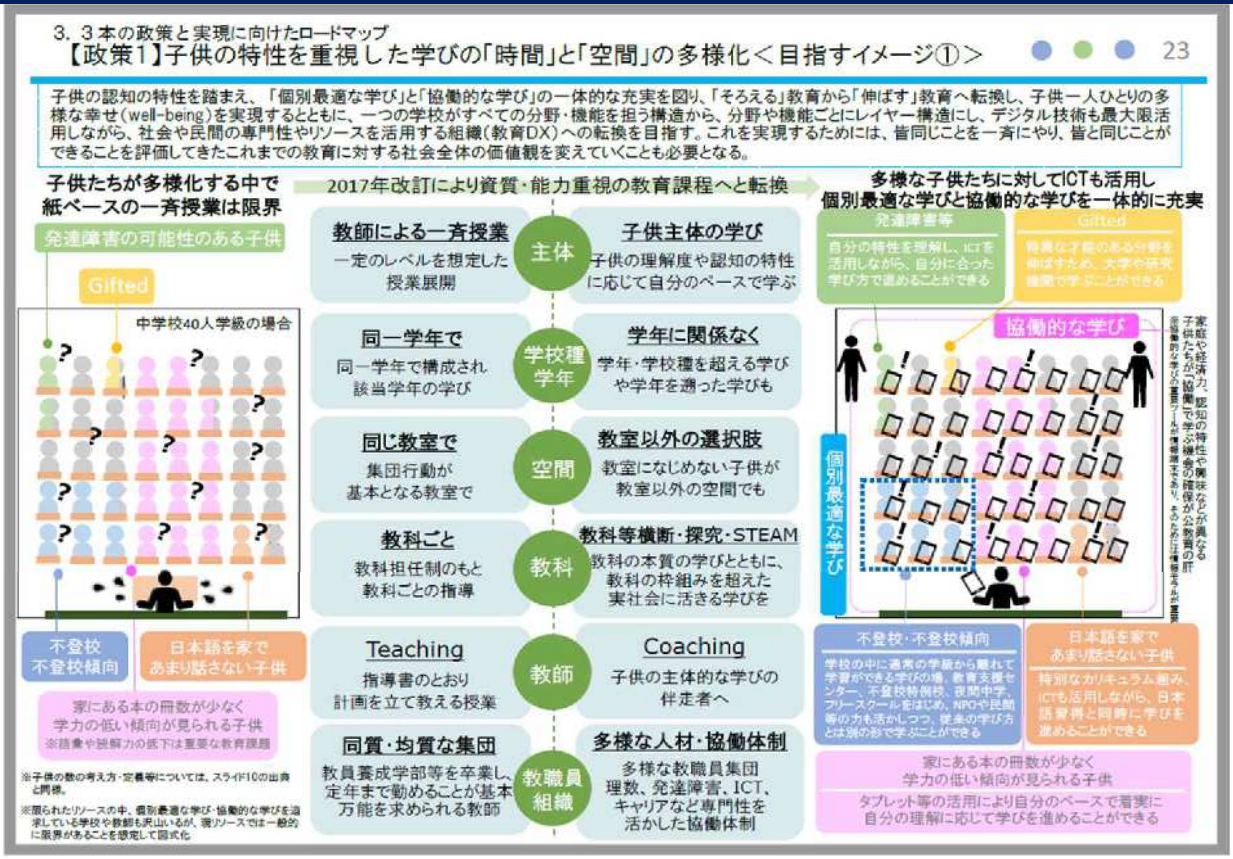
特色４　アウトリーチ型支援の実践

◆教育相談コーディネーター、校長、家庭との連携
◆保護者の希望に応じた家庭訪問支援の実施
◆個に応じた学習や生活支援プログラムの実施

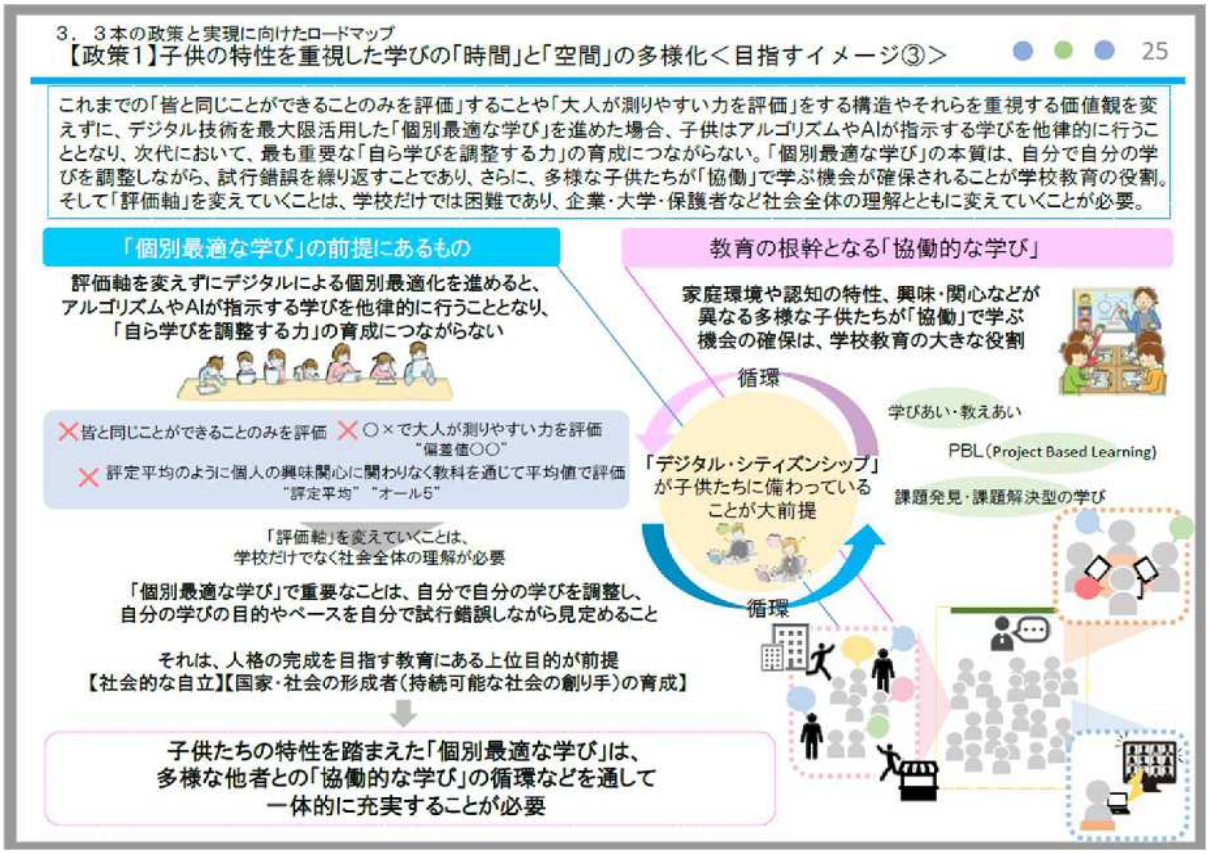
Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ
＜中間まとめ＞より



Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ
＜中間まとめ＞より



**Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ
＜中間まとめ＞より**



HSC (Highly Sensitive Child)　非常に敏感な子

HSC（HSP）とは？

HSC（HSP）は、米国のエレイン・N・アーロン博士によって提唱された考え方で、「感覚や、人の気持ちに敏感であるために、疲れやすく傷つきやすい子どもたち」を「HSC」（ハイリー・センシティブ・チャイルド）と定義しています。同様に、大人はHSP（ハイリー・センシティブ・パーソン）と言います。

繊細さや過敏さなどから発達障害と間違われたり、混同されてしまったりすることもあるそうですが、HSCはあくまで「気質」であり、病気や障害として捉えるものではないそうです。

どう配慮し支援していくか、という考え方が大切です。

HSC (Highly Sensitive Child)　非常に敏感な子

01　すぐにびっくりする
02　服の布地がチクチクしたり、靴下の縫い目や服のラベルが肌に当たったりするのを嫌がる
03　驚かされるのが苦手である
04　しつけは、強い罰よりも、優しい注意のほうが効果がある
05　親の心を読む
06　年齢の割りに難しい言葉を使う
07　いつもと違う臭いに気づく
08　ユーモアのセンスがある
09　直感力に優れている
10　興奮したあとはなかなか寝つけない
11　大きな変化にうまく適応できない
12　たくさんのことを質問する
13　服がぬれたり、砂がついたりすると、着替えたがる
14　完璧主義である
15　誰かがつらい思いをしていることに気づく
16　静かに遊ぶのを好む
17　考えさせられる深い質問をする
18　痛みに敏感である
19　うるさい場所を嫌がる
20　細かいこと（物の移動、人の外見の変化など）に気づく
21　石橋をたたいて渡る
22　人前で発表する時には、知っている人だけのほうがうまくいく
23　物事を深く考える

戸田型オルタナティブ・プラン～誰一人取り残さない教育の実現～

◆ **小さなサインを「科学の視点」で見つけ出す**
◆ **「未然防止」「早期発見・早期対応」「適切な支援」のための選択肢**

1　戸田型校内サポートルーム設置事業



不登校を「支援」する
不登校傾向にある児童生徒を早期支援する

- **戸田型校内サポートルーム「ぱれっとルーム」**の拠点校設置（3校）
- 小学校スクールサポーター配置による学校・家庭支援の充実
  （中学校はすこやかサポーターに替えて全中学校に配置）
- ICTを活用した学習支援や教育相談の推進
- 教育支援センター「すてっぷ」、教育センター等との連携

2　不登校対策ラボラトリー事業



不登校を「科学」する
戸田市教育政策シンクタンクとの連携
全人的な教育を科学の視点で捉え、支える

- 専門家による**不登校対策ラボラトリー「ぱれっとラボ」**設立
- 本市の不登校対策・支援に関する調査・研究・評価
- アンケート等を活用した調査・分析・予兆の発見
- 不登校と学力面・情意面との関連に係る研究
- 各学校や相談室での不登校に関する取組への指導・助言

3　社会に開かれたネットワーク構築事業



不登校を「理解」する
社会の認識を促し、協働の機運醸成を図る

- 地域や保護者を対象としたシンポジウムの開催
- ぱれっとルームでの地域人材や学校応援団等との連携の促進
- ぱれっとラボへの不登校経験者の招聘
- 研究成果レポートの作成・公開

小学校・中学校スクールサポーター

生徒指導・不登校支援対策のための新たなスタッフ

○小学校スクールサポーター（新規）
→モデル校３校に配置

○中学校スクールサポーター（旧すこやかサポーター）
→全中学校６校に配置

主な業務内容
- 不登校対策支援に関わる活動
- 授業中の学習支援
- ぱれっとルームでの児童支援（小学校）
- 部活動の支援（中学校）　など